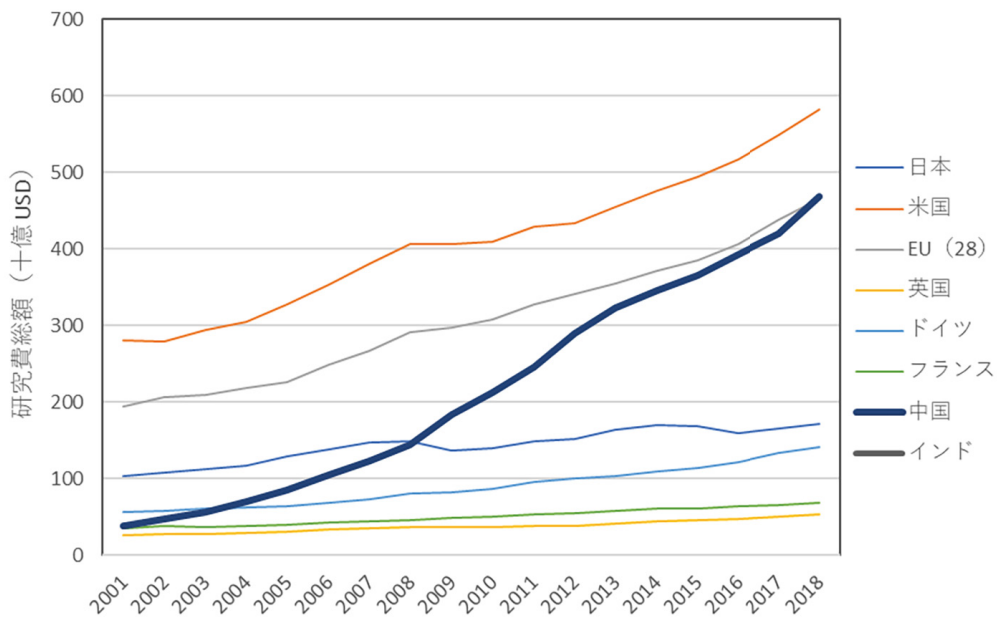


7.5 研究開発投資

7.5.1 研究開発費

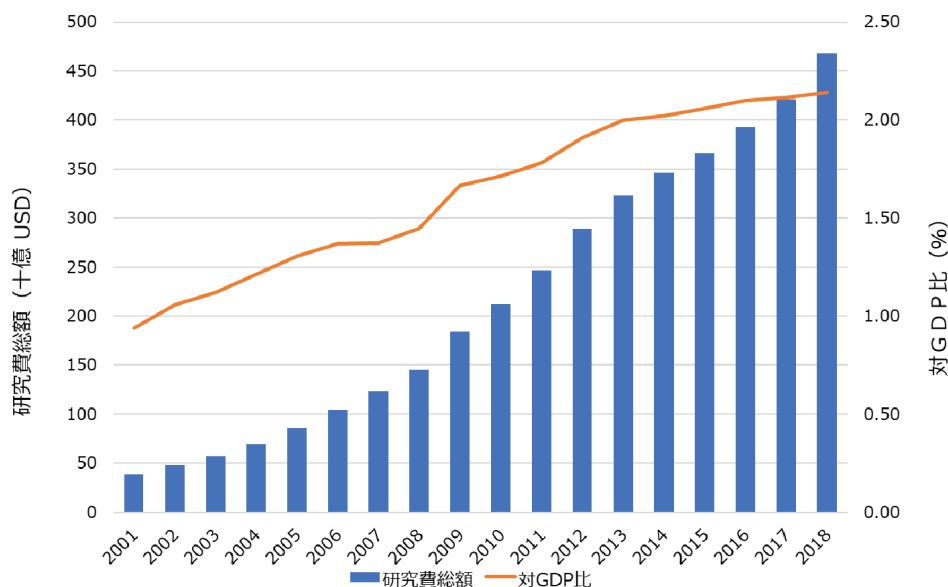
中国の研究開発費は、2017年の4,208億ドルから2018年には4,680億ドルに増加している（図表VII-7）。また研究開発費の対GDP比に関しては、2017年の2.12%から2018年には2.14%と微増であり、主要國中平均的な比率を保っている（図表VII-8）。

【図表VII-7】 主要国の研究開発費（十億米ドル）推移



出典：OECD, Main Science and Technology Indicators データを元にCRDS作成

【図表VII-8】 研究費対GDP比

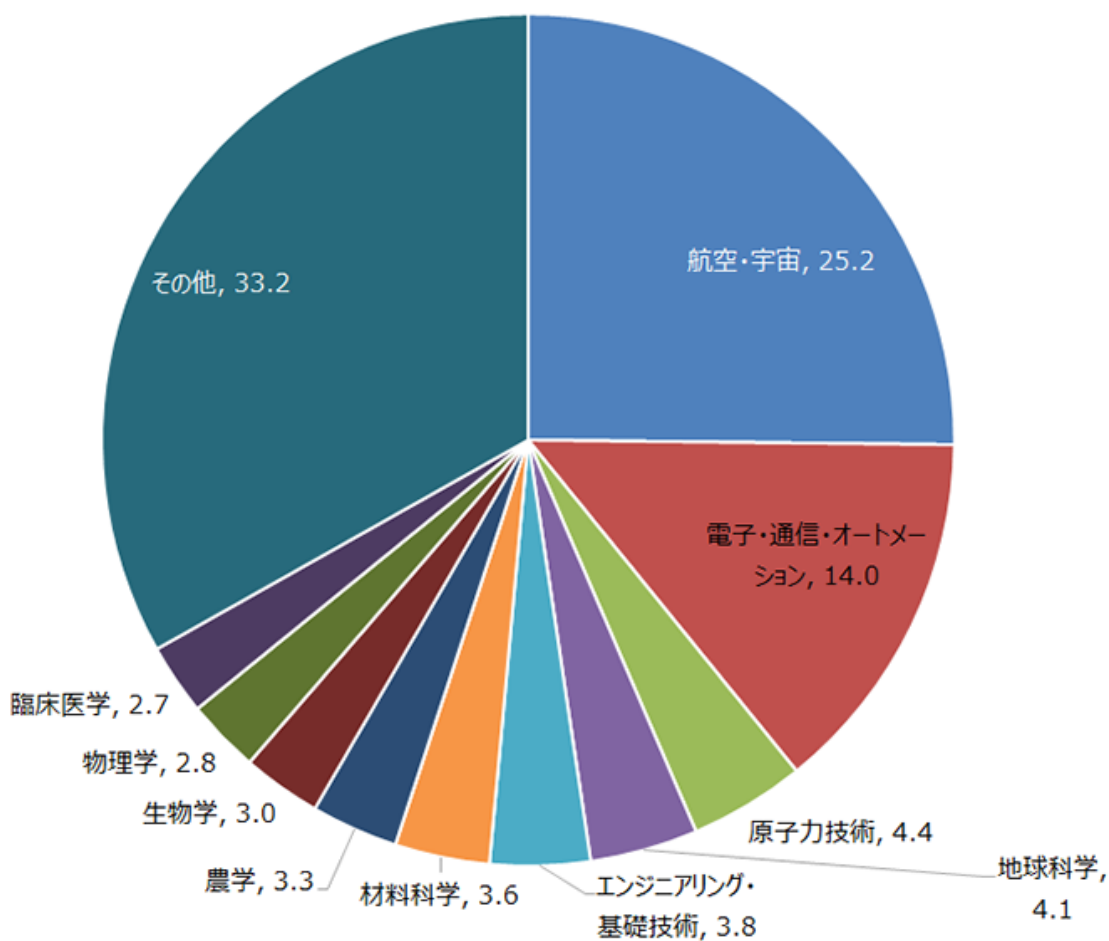


出典：OECD, Main Science and Technology Indicators データを元にCRDS作成

7.5.2 分野別研究開発費

中国による公式発表データには、分野別や省庁別の政府研究開発費は含まれていない。分野別の研究開発費の概況を把握する上で一番適切と思われるデータとして、研究開発機関及び大学において実施された研究開発プロジェクト課題を分野ごとに振り分け、当該プロジェクトの支出額の割合を分類したものを次表に掲載する。航空・宇宙及び電子・通信・オートメーション分野の資金が突出して多いのが特徴といえる。また、上位10分野は従来と大きく変わっていないが、臨床医学は2015年になって上位10分野に浮上してきた。

【図表VII-9】 研究開発機関及び大学において実施された研究開発プロジェクトにおける分野別プロジェクト支出割合（2017年、人文・社会科学を除いた上位10分野の内訳）

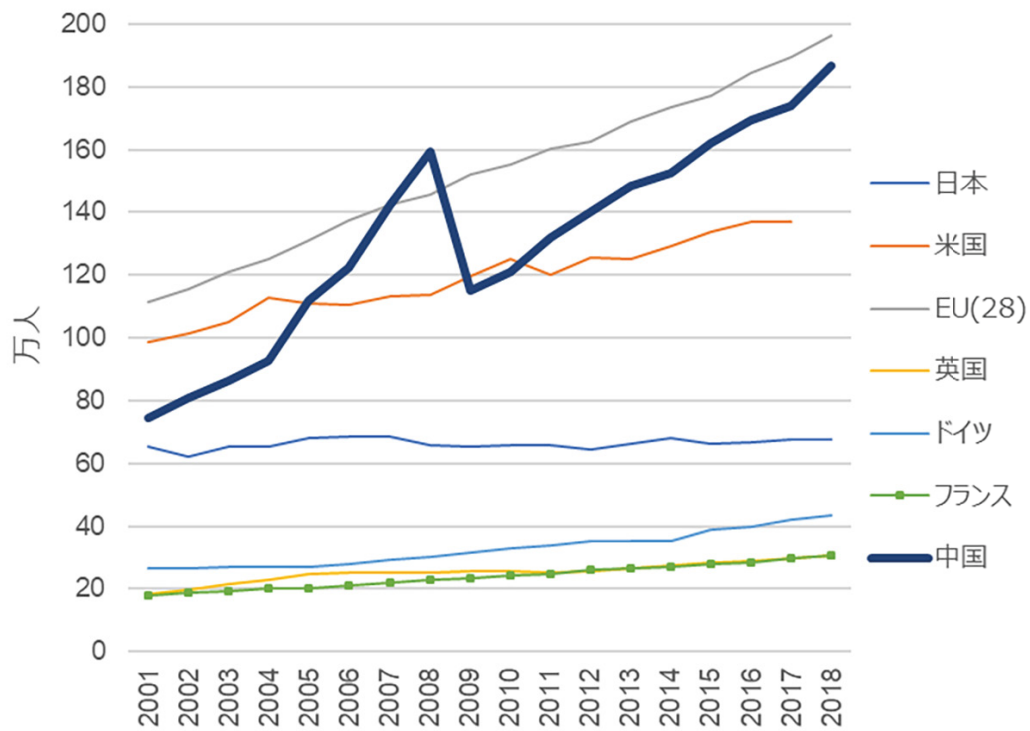


出典：中国科学技術統計年鑑2018を基にCRDS作成

7.5.3 研究人材数

OECD統計によれば、中国の2018年の研究者数は、FTE換算で168万6千人であった。2017年の174万人よりも5万4千人減少している。2008年から2009年にかけて急激な減少がみられるのは、研究者の算出法に変更が生じたためである。

【図表VII-10】 主要国の研究者総数 (FTE換算)

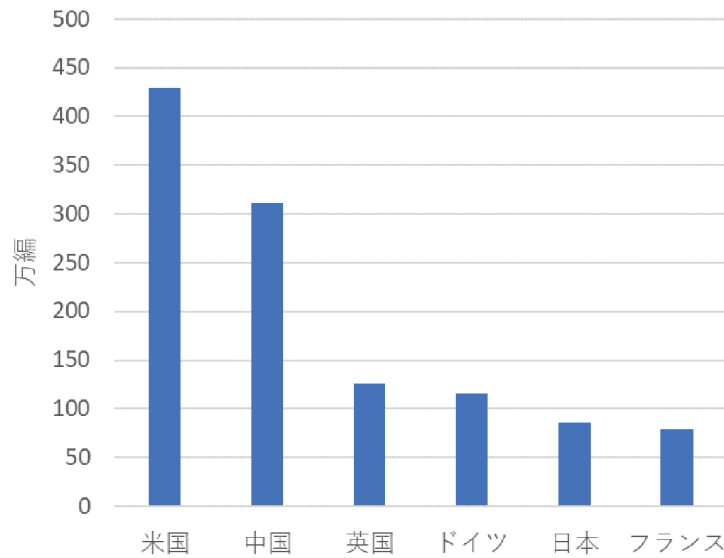


出典：OECD, Main Science and Technology Indicatorsのデータを元にCRDS作成

7.5.4 研究開発アウトプット

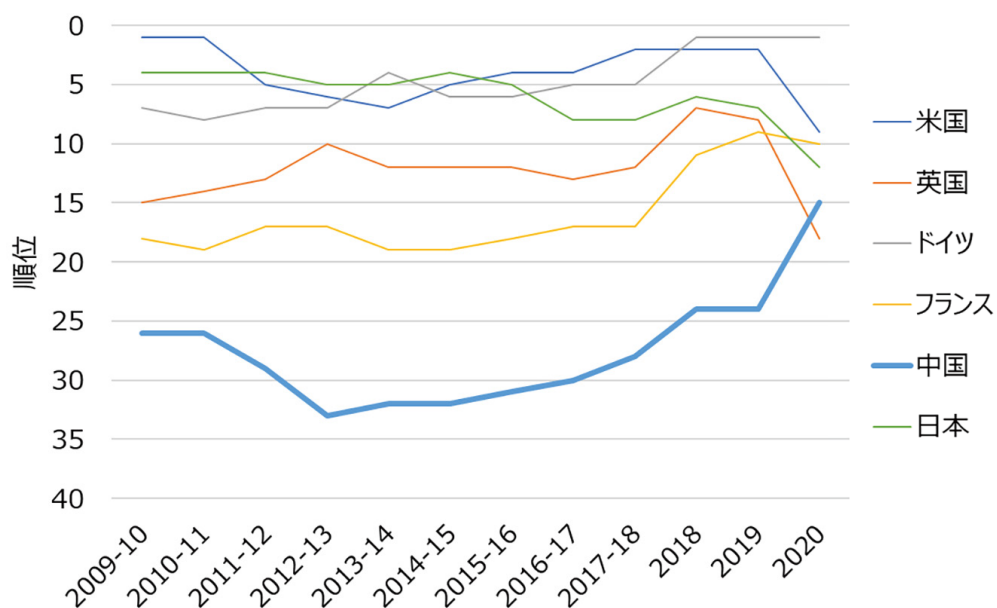
2014年から2020年までの総数で比較すると、主要国のうち、中国の総論文数は米国に次ぐ2番目である（図表VII-11）。また、国別イノベーションランキングでは2019年に第24位となり、他の主要国と差があったが、2020年は15位と急上昇し、前年から大きく順位を下げた18位の英国を抜いている。

【図表 VII-11】 2010年～2020年主要国の論文総数（万編）



出典：クラリベイト・アナリティクス社、InCite essential Science Indicatorsデータを元にCRDS作成

【図表 VII-12】 主要国のイノベーションランキング推移



出典：World Economic Forumのデータを元にCRDS作成